

## 関西支部 第25回技術研修会

### 「ばね製品における塑性加工技術について」

日 時：平成24年11月19日(月) 13:00～17:00

会 場：常翔学園大阪センター (<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>)

[〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3F (毎日新聞ビル1Fとつながっています) TEL(06)-6346-6367]

交 通：JR 大阪駅から徒歩約10分、地下鉄四つ橋線西梅田駅から徒歩約8分、地下鉄御堂筋線梅田駅から徒歩約10分、  
地下鉄谷町線東梅田駅から徒歩約15分、阪神電車梅田駅から徒歩約10分、阪急電車梅田駅から徒歩約15分

主 催：日本塑性加工学会関西支部

協 賛：型技術協会、軽金属学会、ショットピーニング技術協会、精密工学会、日本金型工業会、日本機械学会、日本金属学会、  
日本材料学会、日本伸銅協会、日本鉄鋼協会、日本ばね学会、日本ばね工業会

趣 旨：弾性体の復元力を利用したばねは多くの機械で利用されている重要な製品であります。その種類は多く、形状としてはコイルばね、板ばね、トーションバー、竹の子ばね、皿ばね、渦巻ばねなどが、また材質として鉄鋼、銅合金、ゴム、樹脂、セラミックなどがあります。いずれの製品も弾性エネルギーを効率よく蓄積するため、素材と技術の開発が盛んに行われています。今回、塑性変形によって成形される金属製ばねに対して、材料開発や熱処理などの技術について基礎知識を学ぶとともに現状と今後の展望について解説していただきます。

プログラム：開会の挨拶 (13:00～13:05)

日本塑性加工学会関西支部長

前田 恭志君

講演会 (13:05～16:20)

司会

山口 晴生君、濱家 信一君

討論会 (16:20～17:00)

司会

麻 寧緒君、原田 泰典君

時 間	内 容	講 師
13:05～13:35	<b>自動車用弁ばね・懸架ばねの高性能化を支える鋼材技術</b> ：各々のばねに要求される特性を踏まえた新しい鋼材の開発について紹介します。	(株)神戸製鋼所 稲田 淳君
13:35～14:05	<b>皿ばねの特徴と加工方法</b> ：皿ばねの特徴を紹介し、その形状や特性が故の注意点を解説します。その注意点をどのように対応、改善してきているかについて材料および加工方法の点から解説と紹介をします。	平和発條(株) 野田 総君
14:05～14:45	<b>熱間コイルばねの製造</b> ：単品の熱間コイルばねの製造方法について紹介します。工程は主に材料加熱、巻き取り、端面加工、熱処理、調整、検査となり、それらの手順や勘所などを紹介します。	東海バネ工業(株) 吉田 昌平君
14:45～15:00	休 憩	
15:00～15:40	<b>懸架ばねの材料と熱処理</b> ：ばねは、要求される機能と強度の双方を満足させるために適正な製造方法の選択が必要です。自動車用懸架ばねの製造工程を紹介し、ばねの材料・熱処理のポイントについて概説します。	中央発條(株) 榎原 隆之君
15:40～16:20	<b>自動車用弁ばね</b> ：弁ばねは、ばね製品の中でも最も高応力・高寿命を要求されるものです。本講では弁ばねに要求される品質・性能特性から製造工程全般について解説します。	サンコール(株) 岸原 竜二君
16:20～17:00	討論会 (講師との質疑応答)	

定 員：50名 (定員になり次第締切)

参 加 費：会員8,000円、一般16,000円 (協賛学会の会員の参加費は会員扱い)

申 込 方 法：「関西支部第25回研修会参加申込」と題記し、①氏名、②会員資格 (正・賛助・学生・協賛学協会、非会員)、③勤務先 (所属部課名・役職名)、④通信先 (郵便番号・住所・電話番号・FAX番号・E-mail) を明記の上、E-mail または FAX (なるべく E-mail でお願いします) にて下記にお申し込みください。

※参加費は参加証、請求書を受領後に11月14日(水)までに指定の振込先へご送金下さい。

※申込後1週間経っても受付の連絡がない場合は事務局までお問い合わせください。

申 込 先：日本塑性加工学会 関西支部事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科

マテリアル生産科学専攻 宇都宮研究室内

電 話：090-9280-0383 FAX：06-7635-5475 E-mail：kansai@jstp.or.jp

申 込 締 切：平成24年10月29日(月)